

20004

小児カテ急変時におけるアクションカードを用いた ECMO 導入の取り組み

**【目的】**小児の心臓カテーテル検査での急変時におけるアクションカードを用いた迅速な ECMO 導入の取り組み**【方法】**急変時対応には様々な方法が存在している。問題点として予測できない急変に遭遇した場合にスタッフが動揺し、普段の行動ができなくなる事である。そこでロバスト制御を取り入れた災害時に用いられるアクションカードを取り入れ、急変時の行動を可視化しシステム化した。行動変容を促し、行動の簡素化による急変時対応ができるようにシミュレーションを通じ訓練を行った。アクションカードの周知により事前に多職種のスタッフが行う事柄を理解し準備することができた。**【総括】**当院は低心機能症例や重度呼吸障害等に補助手段として用いられる ECMO の導入が可能な施設である。ECMO 導入には小児心臓外科医など他科の医師や、開胸のために手術室、ICU など他部署との連携が不可欠であり、様々なスタッフの協力が必要であるが普段の業務では連携が少ない。ECMO の導入が必要になった場合、各スタッフが行なうべき行動をアクションカードにまとめ、そのカードに書かれていることを実行することで、迅速に効率よく進めることができる。アクションカード作成に伴いトライ&エラーを繰り返しシミュレーションを4回行なった。スタッフからは急変があった時に対応できる自信がついたという反応があった。チームスタッフの入れ替わりがあるが、アクションカードを元に定期的にシミュレーションをすることで、チームとしての質を確保し、実践に活かし評価していきたい。